熊谷市
記者クラブ取材情報

令和6年2月26日発表
担当課：予防課

タイトル
“埼玉パナソニックワイルドナイツ×熊谷市消防本部”
コラボポスター作製について

1．日時　令和６年３月１日から３月７日まで

2．場所　市内全域

3．事業概要

熊谷市を本拠地としているラグビーチーム、埼玉パナソニックワイルドナイツに御協力をいただき、住宅用火災警報器の啓発ポスターを作製しました。
作製したポスターは、春の火災予防運動に合わせて、公共施設及び市内事業所で掲出され、市内全域で住宅用火災警報器の設置を呼びかけます。
事業の詳細については、下記のとおりです。

【事業内容】
“埼玉パナソニックワイルドナイツ×熊谷市消防本部”コラボポスター
作製ポスター：住宅用火災警報器の啓発用ポスター
印　刷　数：３，０００枚
配付・掲出先：公共施設及び市内事業所　約２，７００か所
配 付 時 期 ：春の火災予防運動（令和６年３月１日から３月７日まで）

4．特徴やPRポイント

作製に当たり、「見逃さない」を大きく掲げたデザインとしました。
この「見逃さない」には、埼玉パナソニックワイルドナイツの「チャンス、勝機を見逃さない」、住宅用火災警報器の「火災、煙を見逃さない」という意味を込めました。
また、モデルに**熊谷市出身の山沢拓也選手と山沢京平選手**を起用しました。
熊谷市に馴染み深い両選手をモデルにすることで、市を挙げて両選手を応援するとともに、市民の目に留まるポスターデザインとし、住宅用火災警報器の更なる普及促進を図ります。

5．その他

協賛　熊谷市防火安全協会

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当者　消防本部予防課　田久・斉藤
連絡先　０４８－５０１－０１１８

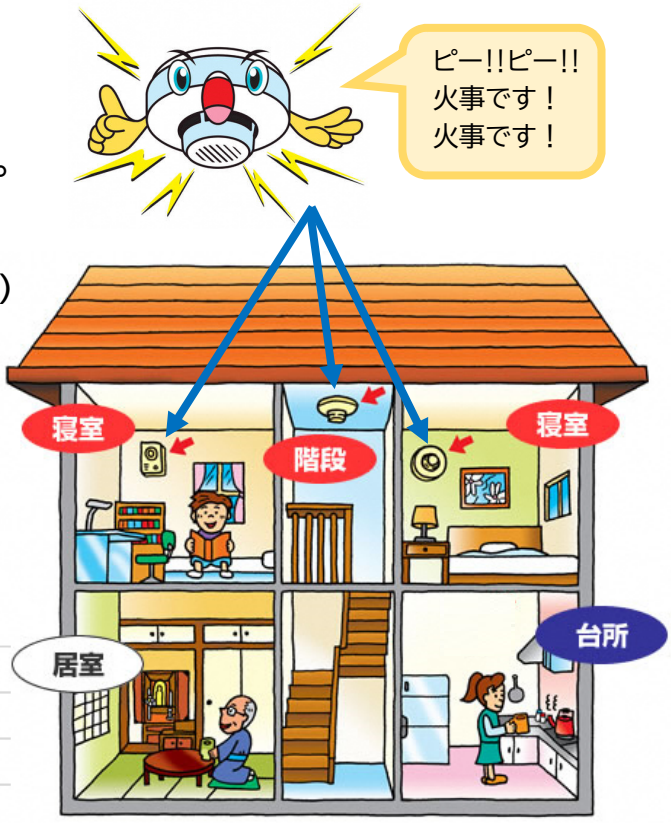
【資料】 住宅用火災警報器について

住宅火災で死者が発生する原因として「逃げ遅れ」が多くを占めています。
また、令和4年中の全国の住宅火災では、死者数972人のうち、426人(43.8%)が「逃げ遅れ」により尊い命を亡くしています。(令和5年版消防白書より)
火災から尊い命を守るには、火災にいち早く気付くことが大切です。
このことから、熊谷市では、平成20年6月1日から
すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

○熊谷市火災予防条例で規定している主な設置場所

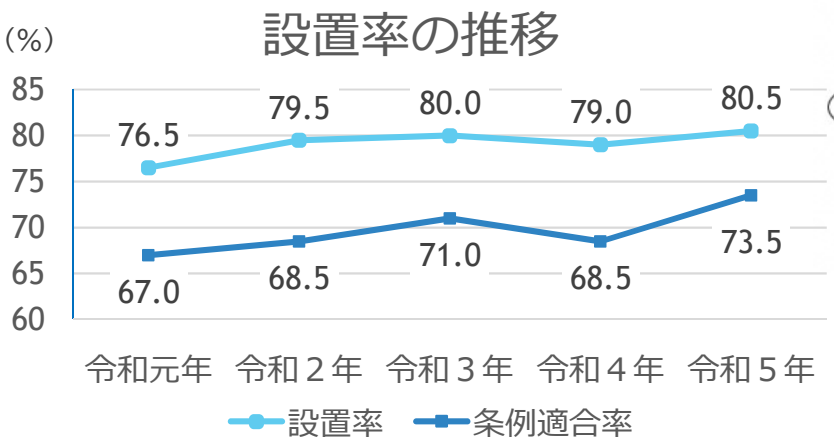
・寝室(就寝の用に供する居室)
・階段(2階以上に寝室がある場合)

※いずれも、煙式の感知器の設置が必要です。



○熊谷市内の設置状況 (令和5年6月1日現在)

設置率	80.5%
条例適合率	73.5%



設置率　：設置が義務付けられている住宅の部分のうち、１か所でも設置している世帯(条例適合世帯を含む。)が全世帯に占める割合
条例適合率：設置が義務付けられている住宅の部分すべてに設置されている世帯が全世帯に占める割合

調査状況は、市内200世帯を地域ごとに無作為に抽出し、調査しています。
設置率に多少の増減はありますが、ほぼ横ばいとなっています。

熊谷市消防本部　予防課

埼玉パナソニック
ワイルドナイツ

熊谷市消防本部





山沢 京平選手

Chance
チャンス



山沢 拓也選手

Victory
勝機

チームのために



見逃さない

家族のために

煙

火災

すべての住宅の寝室・階段（2階に寝室がある場合）に設置が義務付けられています

住宅用火災警報器の設置・点検を！



このポスターは、熊谷市防火安全協会、賛助会員の埼玉パナソニックワイルドナイツに
ご協力をいただき、作製しました。
埼玉パナソニックワイルドナイツで活躍している山沢 拓也選手・山沢 京平選手は、熊谷市出身です！

熊谷市消防本部　熊谷市防火安全協会